

地域包括ちゅいしーじー講習会

(地域ふれあいデイサービス職員・支援者向け)

テーマ：『私のライフプラン ～ACPを学んで、私らしく生きるために～』

○日 時：令和7年10月29日（水） 午後2時00分～4時00分

○場 所：那覇市識名老人福祉センター

○参加者：44名（地域ふれあいデイサービス職員・年齢60～80代）



【目的】①支援者を対象に在宅医療・介護について学びを深めてもらい、多職種連携の構築を図る。

②気軽に参加できるカードゲームやグループワークを通して、ACPの重要性を認識してもらい、その実践を体験してもらう。

サマリー

参加者へ事前・事後アンケートを実施し回収率は約91%であった。講習会では、ACPの基本的な考え方に加え、実際の支援現場での声かけや関わり方をテーマに意見交換を行った。グループワークや「もしバナカード」を使った体験では、「自分自身の想いや考えを整理することができ、家族と話し合うきっかけができた」「重いテーマもカードゲームで楽しく考えられた」など、前向きな声が多く寄せられた。一方で、「高齢者や家族に“もしもの話”を切り出す難しさ」や「ACPを知っていても、実際に話す場面では戸惑う」といった課題も挙げられ、支援者自身の学びや工夫の必要性も共有された。参加者からは、「死を考える機会になり勉強になった」「今後の支援に活かしたい」などの意見が多く、医療・介護・地域が連携しながら、誰もが“自分らしい暮らしと最期”を迎えられるよう支え合う大切さを改めて感じる機会となった。今後も、地域の垣根を越えた連携を広げながら、一人ひとりの想いに寄り添う支援づくりを進めていきたい。



グループワーク ①「ACPを行なう上での現場の課題や悩みについて」
②「ACPを実践する上でのヒント、気づきの共有」

もしバナカードゲーム体験

地域包括ちゅういしーじー講習会（地域ふれあいデイサービス職員向け）アンケート結果

日 時：令和7年10月29日（水） 14時00分～16時00分

場 所：那覇市識名老人福祉センター

参加者：44名

参加者：44名

回答者：40名

回収率：90.9%

所属機関

所属機関	人数	割合
病院	0	0%
診療所	0	0%
薬局	0	0%
高齢者施設	1	2.5%
訪問系事業所	0	0%
通所系事業所	0	0%
居宅介護支援事業所	1	2.5%
地域包括支援センター	0	0%
行政	1	2.5%
その他（那覇市社会福祉協議会）	37	93%
総計	40	100%

職種の内訳

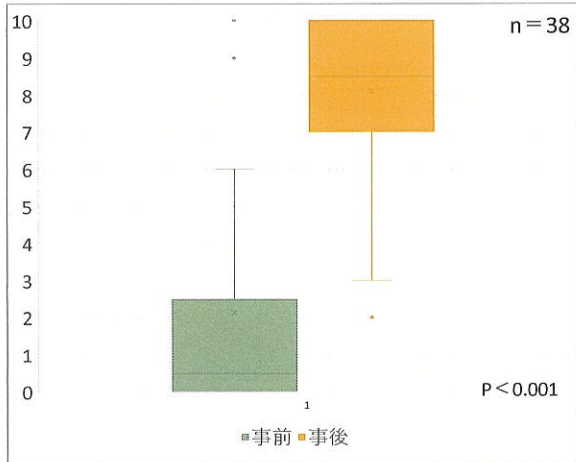
職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	24	60%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	0	0%
MSW・PSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	0	0%
リハビリ	1	2.5%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	1	2.5%
その他（体操、ダンス指導、健康運動指導士、レクリエーション等）	14	35%
総計	40	100%

経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	2	5%
1～5年	6	15%
6～10年	5	13%
11～20年	7	17%
21～30年	7	17%
31年以上	13	33%
無回答	0	0%
総計	40	100%

地域包括ちゅういしーじー講習会（地域ふれあいデイサービス職員向け）アンケート結果

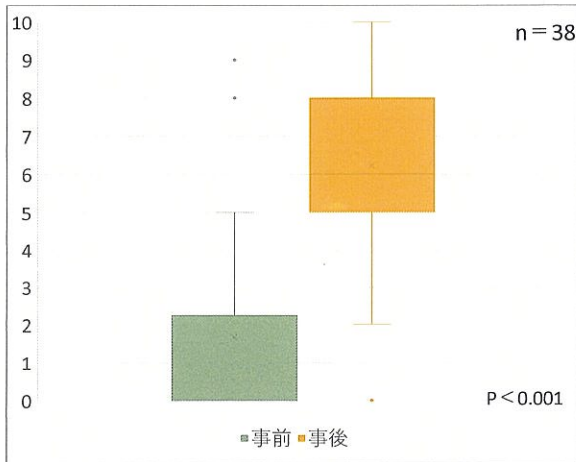
1. ACPの理解度について



《事後コメント》

- ・色々な話しができて良かった。
- ・皆の意見の中から共感部分を思い出した。
- ・初めての講座で学ぶことができた。
- ・いろんな情報を聞けたので良かった。
- ・分かりやすい講話でした。
- ・他者の話を聞いて、いろんな悩みなどを聞けた。
- ・ACPという言い方より、どんな風にケアしてもらいたいかの計画として考えたら良いのでは。
- ・もしバナカードゲームのテーマについて考え・語ることで、望み・価値観などを知るきっかけになり、ACPを理解することに有効だと思います。

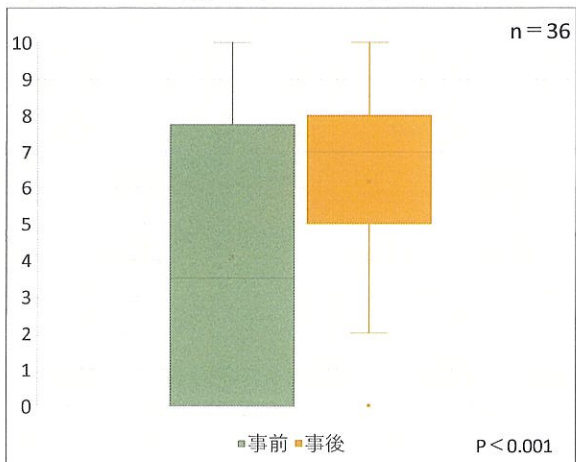
2. ACPを意識した支援について



《事後コメント》

- ・明るい雰囲気ですACPの話の導入が出来ればと思う。
- ・看護師からの提案が良いのでは!?という意見。
- ・話しやすいテーマを決めていくと入りやすいかと思う。
- ・（私的に）現実的に難しいと思う。
- ・難しいが、話したい。
- ・地域には一つの答えで対応できないので。
- ・その場にあったらやむを得ません。全力で支援します。
- ・ゆっくりと自分を見つめてみたい。

3. ACPを行なうことに難しさを感じるかについて

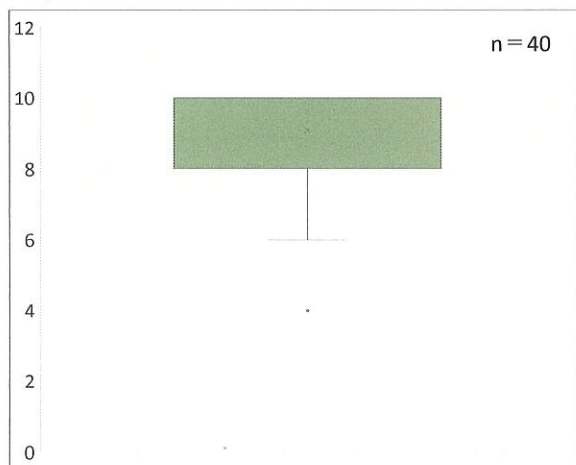


《事前コメント》

- ・頑張りたい。
- ・話すきっかけが大切ですね。
- ・家族と話し合うことの必要性を感じた。
- ・もう一度整理して実施していきたい。
- ・自然体で考えたい。
- ・難しい
- ・なるべく出会いたくない程度です。
- ・地域には一つの答えで対応できないので。
- ・突然この話をしても、すぐ理解してもらえないのかと思いました。

地域包括ちゅういしーじー講習会（地域ふれあいデイサービス職員向け）アンケート結果

4. ACPを理解するうえでグループワークは参考になったか



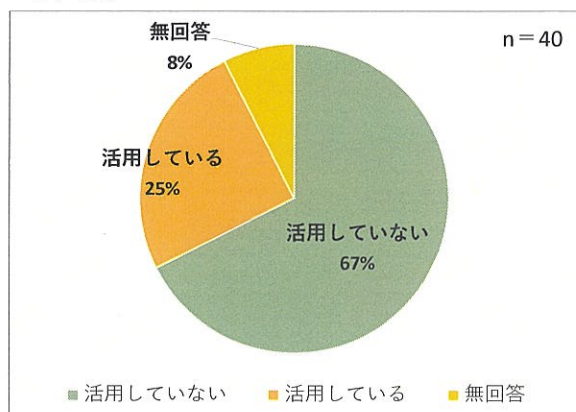
《事後コメント》

- ・ゲーム感覚が良いですね。
- ・様々な考えがあることが分かった。
- ・他の人の考え、自分の考えを知れた。
- ・他者の意見が聞けて良かったです。
- ・他者の意見を聞くこと、知ることが参考になりました。
- ・他者の考えなどを聞いた事で自分自身の参考に来た。

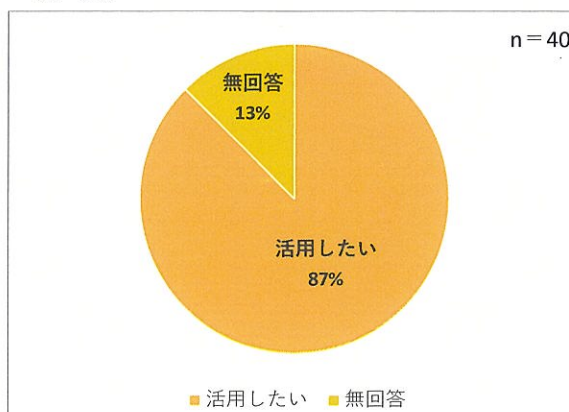
- ・皆の意見や医師会の先生方やスタッフの指導が良かった。

5. 緊急医療情報キットの活用について

《事前》



《事後》

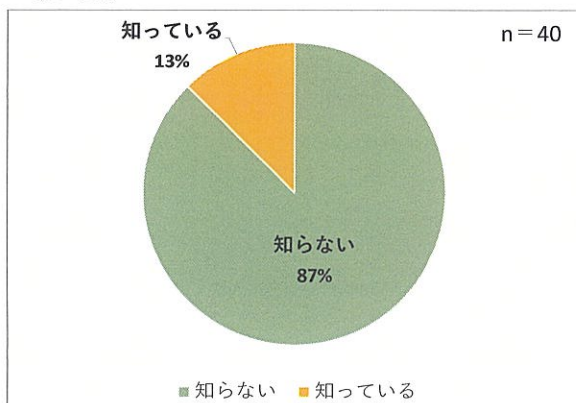


《事後コメント》

- ・提案はしたい。
- ・うたごえの本に広告が載っているので、その事から。
- ・他の意見を聞いて、参考になるのがあれば考えたい。

6. もしバナゲームについて

《事前》



《事後コメント》

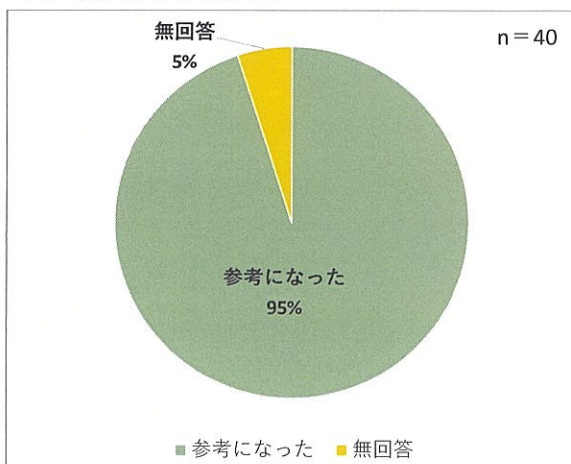
- ・面白かった。
- ・とても興味深かった。
- ・みな大切だと思った。
- ・自分自身の再確認ができた。
- ・最後のカードに嬉しかった。
- ・楽しい中で見直すことができた。
- ・今の自分の状態が分かりやすかった。
- ・グループの皆さんの考えを聞けて良かった。
- ・人生ゲーム
- ・とても参考になった
- ・自分の思いを感じた。

地域包括ちゅういしーじー講習会（地域ふれあいデイサービス職員向け）アンケート結果

《事後コメント》

- ・良いゲームでした。自分の考えがまとめられた。
- ・楽しく人の終末を聞く・考える、参考になりました。
- ・自分の死や親しい人の死を考える機会になりました。
- ・とても皆さんのイメージがはっきり出来たと思います。
- ・自分が思っていたことがカードにあり、後押しされた。
- ・久しぶりにやって楽しかったです。お疲れ様でした。
- ・今後、家族とも話し合えるきっかけとなりました。
- ・自分が本当に大切にしていることを知る事ができた。
- ・とても良かった。これからの人生の勉強になった。
- ・大切にしている事柄を改めて知る事ができた。
- ・もっと身近な沖縄版でも良いかなと思います。
- ・自作のカードを作ってみるのも面白いかもという意見があった。
- ・自身と家族と周りに向き合う大切さを教えていただくきっかけになりました。
- ・カードがあると考えるきっかけになり、皆さんの話を聞いて参考になった。
- ・自分の今の状況を改めて認識できた。これから向かうところも意味付けしていきたい。
- ・とても自分の考えが整理できました。そして人によって違う考え方があることも良く分かりました。
- ・書かれた言葉によって、リアリティを持って考えられたことが良かった。きっかけとしても良いカード。
- ・自分が今、とても大切にしている考え（想い）を改めて知ることができた。一人ひとりの違いも分かって、ACPも人それぞれ。
- ・家族でもどこでも使えて、話し合いのきっかけになりそうで良かったです。自分の気持ちも整理しやすい。

7. 講習会を終えて



《事後コメント》

- ・常に考えたい
- ・ありがとうございました。
- ・ゲームを通して考える方が良いです。
- ・人間の生と死なので、とても良いきっかけになった。
- ・講話を受けて良かったです。ありがとうございました。
- ・大切なお話、きっかけをいつもありがとうございます。
- ・「老人ホームの入り方」きっかけのテーマ

- ・家族と話し合うことの背中を押されたので、とても良かった。
- ・自分の人生の終わり方を考える機会になった。

地域包括ちゅいしーじー講習会（地域ふれあいデイサービス職員向け）アンケート結果

《事後コメント》

- ・今後ふれデイにどのような形で説明するのか考えていきたいと思いました。
- ・とても参考になりました。ACPとは何かを皆さんに伝えて欲しいです。もしバナカードが欲しいと思いました。
- ・とてもデリケートな問題でした。これまで人生の最期のことを考えずに日常生活していたので、今日のもしバナカードで自分の今後のライフプランを真剣に考えるきっかけになった。ただ、ふれデイの利用者にACPについて話すには難しいと考えます。人生80年以上生きてきた先輩に上手く話すのは難しいと感じた。自身の経験上、母親の最期を看て思ったことは最期まで意識があり家族一人ひとりの名前を呼んで亡くなったので、最期までしっかり意識をもって皆の名前を呼んで最期を迎えたいと思った。